

農林水産省登録:第18708号
●成分:イプロジオン.....40.0% 殺菌剤分類 2
●毒性:普通物(毒劇物に該当しないものを指すという通称)

ロブール®
500 アクアの特長

- 1 フロアブルタイプのため粉立ちがなく、薬液調製が簡単です。
- 2 水和剤に比べ、作物への汚れを軽減することができます。
- 3 各種作物の重要病害に対して優れた予防効果を示します。

適用病害および使用方法 (2023年7月現在の登録内容)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用回数*		使用方法	
					本剤	イプロジオン		
きゅうり	菌核病、つる枯病、灰色かび病	1,000～1,500倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	4回	5回 (種子粉衣1回、は種後4回)	散布	
なす	灰色かび病					4回(種子粉衣1回、は種後3回)		
いちご					灰星病	3回		3回
トマト								
おうとう	1,500倍	200～700ℓ/10a						
もも	1,000～1,500倍							
ハスカップ	灰色かび病		1,000倍					
ふさずぐり	果実腐敗症							
いちじく	黒かび病			収穫3日前まで	3回	3回		

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきって下さい。
- 使用に当っては容器をよく振って下さい。
- ボルドー液、石灰硫黄合剤などの混用はさけて下さい。
- おうとうに使用する場合、着色以降の散布は果実に汚れを生じるおそれがあるので留意して下さい。
- 葉に対して影響があるため、周辺の葉菜にはからみ合わせないようにして下さい。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、作用性の異なる薬剤と組み合わせて輪播で使用して下さい。

農林水産省登録:第17915号
●成分:イプロジオン.....20.0% 殺菌剤分類 2
●毒性:劇物

ロブラール®
くん煙剤の特長

- 1 灰色かび病・菌核病・つる枯病に優れた予防効果を示します。
- 2 マッチやライターで点火紙に点火するだけで処理でき、大変省力的です。
- 3 ハウス内の温度を高めないので、発病を助長せず、曇天の続く時期にも使用できます。
- 4 果菜類では、収穫前日まで使用でき、しかも収穫物の汚れもほとんどありません。

適用病害および使用方法 (2023年7月現在の登録内容)

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	使用回数*		適用場所	使用方法
				本剤	イプロジオン		
すいか	菌核病	くん煙室容積 300～400㎡ (高さ2m、床面積150～200㎡) 当り100g (50g×2個)	収穫前日まで	4回	5回 (種子粉衣1回、は種後4回)	温室、 ビニールハウス等 密閉できる場所	くん煙
メロン	菌核病、つる枯病						
いちご	灰色かび病						
きゅうり							
なす							
ピーマン	菌核病						
トマト	灰色かび病						
ミニトマト							
とうがらし類							
ぶどう	灰色かび病	開花直前～幼果期	3回	3回			

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

使用上の注意事項

- 温室、ガラス室、ビニールハウス等防除しようとする室の戸や窓を閉め、室の容積によって使用量を決め、分散して薬剤を配置(1カ所100g以下)し、煙がまんべんなく行きわたるようにして下さい。
 - 使用量に合わせ秤量し、使いきって下さい。
 - くん煙する場合は、添付の吊具または所定の電気式点火・くん煙装置を使用してください。吊具および電気式点火・くん煙装置は吊り下げたかまたは可燃性の台などの上に設置して下さい。なお、植物体、可燃物から離れた中央の安全な場所に設置して下さい。とくにビニール等の被覆材とは60cm以上離れた位置で燃焼して下さい。
 - 点火は以下のとおりに行ってください。
 - 点火紙を用いる場合

同封の点火紙を吊具の所定の位置に正しく設置しその上に薬剤をのせてから点火紙に点火して下さい。点火紙を薬剤の上のせて点火すると火花が出るので必ず行って下さい。発煙直後に一炎が出た場合は吹き消して下さい。点火後発煙を確認したらくん煙室の外に出てそのまますま放置して下さい。
 - 電気式点火・くん煙装置を使用する場合

装置は水などに濡れないよう設置し、電源が故障や切れていることを確認の上、薬剤を装置の所定の位置に正しく設置した後に通電して下さい。点火後発煙したと電源の点を確認し、くん煙室の外に出てそのまますま放置して下さい。発煙直後に一炎が出た場合においても、再びくん煙室に入らずに、そのまますま放置して下さい。
 - 点火後しばらく経てし時点でくん煙室に入らないで下さい。
 - 日中やくん煙は避け、夕刻からくん煙し、翌朝開放して下さい。
 - 高温時(30℃以上)のくん煙は薬害を生じやすく、また、風の強い日は煙がかたよってしまい、均一な効果がでにくいため使用しないして下さい。
 - 定植直後、幼苗、軟弱徒長苗、草勢または樹勢が弱っている場合には、薬害を生じるおそれがあるので使用はさけて下さい。
 - 作物がハウスの天井に触れるくらいに大きくなっている場合、上方にたまった濃煙が触れる部分に薬害を生じるおそれがあるので使用をさけて下さい。
 - ぶどうに使用する場合、葉焼け等の薬害を生じやすいので次の事項に注意して下さい。
 - 発煙は1カ所50g以下で行って下さい。
 - 天井と棚との間隔が30cm以下の場合、暖房機などの送風機を動作させ、煙の拡散を図って下さい。
 - ジラウエウ、巨峰、ビオネー以外の品種では薬害を生じやすいので必ず吊具を用いてくん煙して下さい。
 - 超早期加温栽培の場合や樹が軟弱に成長した場合にはとくに薬害を生じやすいので使用はさけて下さい。
 - 薬剤刺激性の出現を防ぐため本剤の過度の連用は避け、なるべく作用性の異なる薬剤と組み合わせで輪播で使用して下さい。
 - 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
 - 使用残りは、必ず外箱に入れて保管して下さい。



バイエル クロップサイエンス株式会社
東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262
<https://cropscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078
9:00～12:00、13:00～17:00 土日祝日および会社休日を除く

- 使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

第3版 L2-2005 23.07.NY

恵みには、
かかせないもの。

野菜類や果樹類など
多くの作物に登録がある。
環境にもやさしい殺菌剤の決定版。



ロブルール®



製品情報は
こちら



製品情報は
こちら



製品情報は
こちら



FMC、FMCロゴ、®を付した商標は、FMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。

●成分：イプロジオン.....50.0% 殺菌剤分類 2
●毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

- ・ぶどうに使用する場合、巨峰以外の品種では薬害を生じやすいおそれがあるので注意して下さい。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守って下さい。
 - 散布は散布機種の散布基準に従って実施して下さい。
 - 散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用して下さい。
 - 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配置その他散布装置の十分な点検を行って下さい。
 - 周辺に栽培されている作物に飛散しないよう注意して下さい。
 - 散布薬液の飛散による他の分野への影響に注意し、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意して下さい。
 - 散布終了後は次の項目を守って下さい。
 - ① 使用後の空袋は放置せず、安全な場所に廃棄して下さい。
 - ② 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきって下さい。
 - ③ 機体の散布装置は十分洗浄すること。また、薬液タンクの洗浄廃液は河川等に流さないで下さい。
- 蜜に対して影響があるので、桑に使用後15日間は蚕に桑葉を給餌しないで下さい。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。